

かいぼり瓦版

4号
2021年3月

発行

上尾市役所みどり公園課
<https://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s355000/>

編集

認定NPO法人生態工房
<https://www.eco-works.gr.jp>



みんなで取り組む！

大池の自然再生

かいぼりによって外来魚がいなくなった大池で、ボランティア「上尾水辺守」と上尾市の協働による自然再生の取組が続いている。その一つが、水草などに被害をおよぼすアメリカザリガニの防除活動だ。来園者と一緒に、熱のこもった活動が始まっている。



アメリカザリガニの池 ビフォー・アフター ～石川県金沢市の事例～

アメリカザリガニが侵入する前



アメリカザリガニが侵入した後



当池では、アメリカザリガニが侵入して3年後に、希少な水生昆虫シャープゲンゴロウモドキが絶滅した。池水も茶色く濁り、水面を覆う水生植物も見られなくなった。

写真提供：西原昇吾（中央大学保全生態学研究室）

知られざる、アメリカザリガニによる被害

赤い体に、おおきなハサミを持つアメリカザリガニ。水辺のかっこいい人気者のように言われることもあるが、自然を守る上では厄介な存在だ。

アメリカザリガニは、水中に棲む昆虫や貝、魚、水草など、さまざまなものを食べて被害をおよぼす。水草ではとくに、茎葉が水中にある沈水植物、水面に葉がある浮葉植物は、草体がやわらかいので大きな被害を受ける。アメリカザリガニが侵入した池では、これらの水草がなくなってしまうこともある。

水草が無くなると、水草を食物やすみかとして利用していた生物がその地域から絶滅したり、池底の泥が巻き上げられて水が濁ったりする。わたしたちは、池という環境は、水草が無くて水が茶色いのが当たり前のように思っているが、それはアメリカザリガニがいる池だ。

こうした被害があることから、環境省と農林水産省では、2015年に生態系被害防止外来種リストを作成して、アメリカザリガニを「緊急対策外来種」に選定した。2021年からは、アメリカザリガニによる問題を広く知ってもら

環境省 「日本の外来種対策」 アメリカザリガニ



うために、環境省は特設ページで情報提供を始めている。

来園者を行うアメリカザリガニ対策

大池に豊かな自然を再生していくためには、アメリカザリガニ対策は避けられない。2020年は、前年よりも防除用のワナ数を増やし、上尾水辺守のボランティアが作業を行った。

さらに8月からは、自然再生の取組を学びながら防除活動に協力する「みんなで水辺守」アメリカザリガニ駆除編を開始した。これは上尾水辺守と来園者が一緒にワナ回収作業を行う行事で、上尾市と上尾市自然学習館の共催である。（裏面へ続く）

